

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成29年 9月20日（水）
場 所	熊本県議会「本会議場」
目 的	緒方勇二県議 一般質問傍聴

報 告 の 内 容	<p>◆質問項目と本町の課題</p> <p>1. 九州北部豪雨を受けて</p> <p>(1) 流木対策及びダムが持つ二次的効果について 【本町の課題】 <u>スリットダム（砂防ダム型式のひとつ）の設置状況</u></p> <p>(2) 健全な森林づくりについて 【本町の課題】 <u>林地台帳の整備状況、森林環境税の活用</u></p> <p>2. 市房・緑川発電所リニューアル事業について</p> <p>3. 人口減少局面での持続可能な地域づくりについて</p> <p>(1) 流域下水道の将来の姿について 【本町の課題】 <u>下水道区域外における合併浄化槽の支援</u> <u>人口減少下における安定した下水道運用</u></p> <p>(2) 上水道・簡易水道事業の将来の姿について 【本町の課題】 <u>広域連携に向けた県水道ビジョンの課題共有</u></p> <p>4. 美しい景観維持に向けた良好な公共空間について 【本町の課題】 <u>日本遺産周辺の河川と道路の整備</u></p> <p>5. 熊本地震を受けての消防広域化について 【本町の課題】 <u>県と市町村における消防広域化の課題共有</u></p>
-----------------------	---

6. 県道熊本高森線4車線化と市電延伸化による高速バスとのアクセス改善について（要望）

◆研修目的と所感

県議会の一般質問を初めて傍聴し、県議会の意義を改めて感じた。研修目的ごとに、自分の考えを示す。

【目的①】一般質問の仕方を学び、議会力・議員力の向上を図る。

- ・議場に入る態度や一般質問の言動など、県議会議員の品格を感じた。
- ・県議会の一般質問は「一括方式」。質疑の論点、議場の緊張感の観点から、本町も取り組む「一問一答方式※」のほうが、執行部の考えをより追及できるのではないか。今後も、「問題点の共感」「原因の追及」「今後の方策」を論点に、議員の品格と一問一答質問を追究したい。

※：H28年7月全国町村議会議長会「地方議会の活性化に関する調査結果」一般質問を「一問一答方式」で行っている議会は、928町村のうち712町村（76.7%）、「回数制限あり」は289 町村（31.1%）、「時間制限あり」は740 町村（79.7%）。

【目的②】県議の考えを理解し、本町の振興発展に繋げる。

- ・県議の考えを理解する上で、一般質問は最高の情報収集ツールになる。今後は、県議各位の一般質問を議会中継などで確認して、「本町の課題」を抽出し、本町の振興発展に繋げていきたい。

【目的③】地元選出県議会議員を応援し、県議共に地域を育てる。

- ・町村は、政策実現のために国や県との連携が欠かせない。今回、緒方県議の一般質問を応援できたことは、本町にとっても議員各位にとっても、大きな行動になるだろう。今後も、松田県議、溝口県議共々しっかり応援していきたい。
- ・町議会議員として、これまで県議会の情報（一般質問の録画、会議録）を県ホームページ上で収集できていなかった。今後は、一般質問や質疑において、県議会の情報を積極的に活用したい。